

大学(6ヶ月を基盤にした保健師教育)での実習例

- 実習期間＝3単位
 - － 地域保健の場(保健所等)で2週間(2単位)実習
 - － 残り5日間は、実習報告会、資料による地区診断、健康教育準備等
- 保健所・保健センター実習の持ち方
 - 実習目的： 地域看護活動の場で、実践に参加・見学し、
 - ・地域の特性を踏まえて健康課題を捉えることの必要性を学ぶ。
 - ・地域で生活する人々の健康を守る仕組みを学ぶ。
 - ・実習先の活動を通して地域看護の原則、共通技法等を具体的に理解し、将来看護職として幅広く活動できる基本的能力を養う。

実習方法： 連続2週間。その期間の事業から、学生の関心(母子・精神・難病等)に沿って事業を選択。選択時には、健診・相談・グループ活動等を含む様に配慮。家庭訪問は、必ず1度は連れて行って頂けるように依頼。